

## 【リハビリテーション科】

リハビリテーションとは、病気や怪我などで障害を持った人が、元の生活に戻れるように、またはその人らしい生活ができるように、身体的・精神的・社会的な機能を回復させることです。

リハビリテーション科では、主に以下のリハビリテーションを行っています。

- ・入院患者様に対して、発症早期から身体機能の早期改善を目指したリハビリテーション
- ・急性期から回復期にかけて、家庭・職業・社会への復帰を目指し、起きる・立つ・歩くなどの基本的な動作や、日常生活に関連した応用的な動作の能力向上、話す・聞くなどのコミュニケーションの改善を目的としたリハビリテーション
- ・外来患者様及び維持期の患者様に対する症状の改善を目的としたリハビリテーション

リハビリテーション科のスタッフは、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、あんまマッサージ師など、多くの職種の専門職が在籍しております。

主治医や看護師、MSW(医療ソーシャルワーカー)と協力しながら、患者様の1日でも早い家庭・職業・社会への復帰にむけて取り組んでおります。



## <理学療法>

理学療法では、脳血管疾患や整形外科疾患・内科及び外科疾患から生じる廃用症候群などにより障害された機能の再獲得を目指し、発症早期から関節可動域の改善、筋力の維持と強化を行います。

症状の回復に合わせて、起きるや立つなどの基本動作、移乗や歩行など日常生活動作の練習と指導を行っています。

運動療法のほかにも、電気・温熱・牽引を用いる物理療法があり、患者様お一人お一人の症状や障害に合わせたプログラムを行っています。

## <作業療法理>

作業療法では、脳血管疾患・運動器疾患・廃用性疾患の患者様に対して、入院前生活の再獲得を目指して身体・精神面の機能回復訓練を行います。

安心して生活を送るための日常生活場面を想定した作業練習や、福祉用具や自助具などの援助を行います。

必要に応じて住宅改修前の訪問調査など患者様を中心とした生活環境整備も行っています。

## <言語聴覚療法>

言語聴覚療法では、脳梗塞や脳出血、外傷により言葉が出にくい、発音が聞き取りにくいなどのコミュニケーションに障害がある方に対して、必要な検査や評価を行い、検査や評価結果に基づいて練習を実施、またご本人やご家族に対して助言や指導を行っています。

食べ物を食べる時や飲み込む際に、むせたり喉を通りにくくなった患者様に対して、看護師と協力して摂食嚥下(食物を認識してから口に運び、取り込んで咀嚼して飲みこむまでのこと)の練習を行っています。

